

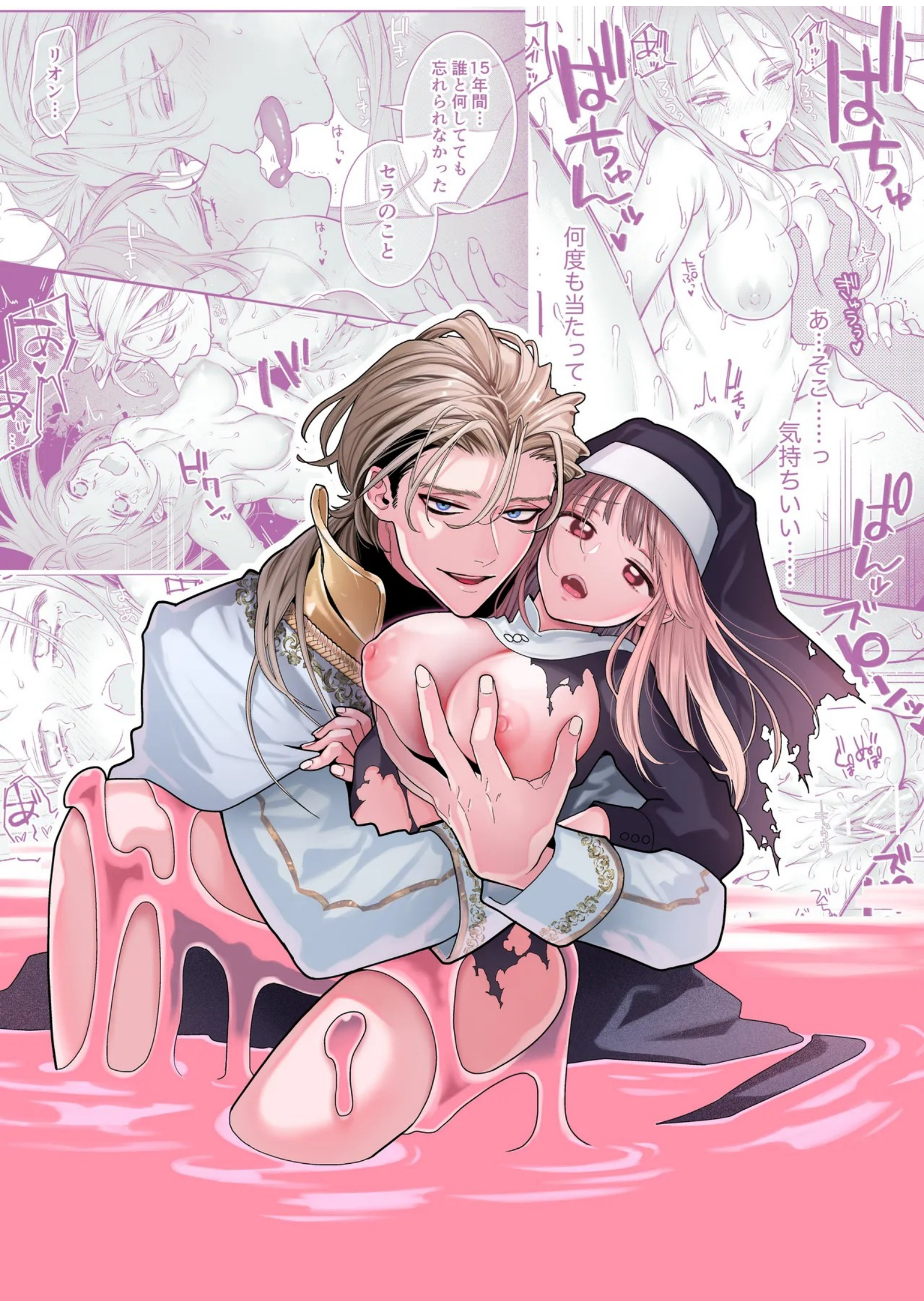


ただの
幼馴染の
染み
はずだった

聖騎士
が

ダンジョン
の
密室で

積年の
執着を告白
して
きた!?



リオン...

15年間！
誰と何しても
忘れられなかった


セラのこと

何度も当たって

気持ちいい...

ぱんぱんぱん

ただの幼馴染のはずだった聖騎士が
ダンジョンの密室で
積年の執着を告白してきた!?



これは
とある異世界の話

人々が
剣や魔法と共に生きる
とても不思議な世界の
できごと…

だけど
勇者と竜の物語でも
お城に眠る姫の物語
でもない

この世界で平凡に生きる
一人の女の子のお話…

聖遺物探査協会

セラ

お待ち
許可証よ！

はー
あー
ごめい
ます
ありが
とう



やっと
この日が来た

私はセラ
聖遺物探査協会に
所属する
新人の探査員



はいっ
シルヴィア主任

初めての
聖遺物探査ね
頑張っ
てセラ!



聖遺物探査協会
とは...

この世界を創造した
「大いなる意思」にまつわる
遺物の数々を
収集保全する機関のこと

世界中に遺された
断片的伝承の収集や
古代遺跡などの
研究も行っている

ずっと
協会本部で研究を
担当していた私が

探査員の資格を
取った理由

それは…

やっぱり
探査の現場に
参加したかった
から…!!



はやく
二級探査員に
なりたい

いいな…

あんなふう
に正式な
探査チームの
一員として

攻略任務に
つきたい…

初級探査員である
あなたの任務は

ダンジョン攻略に
正式なチームを
派遣するための
事前探査よ

セラ

憧れは
わかるけど
焦らないで

くれぐれも
深追いで危険を
冒さないようにね

はいっ





リオン…!?

あらあ
2週前には
言ってくれなきゃ

じゃあ
2週後の最前列に
入れておいてよ

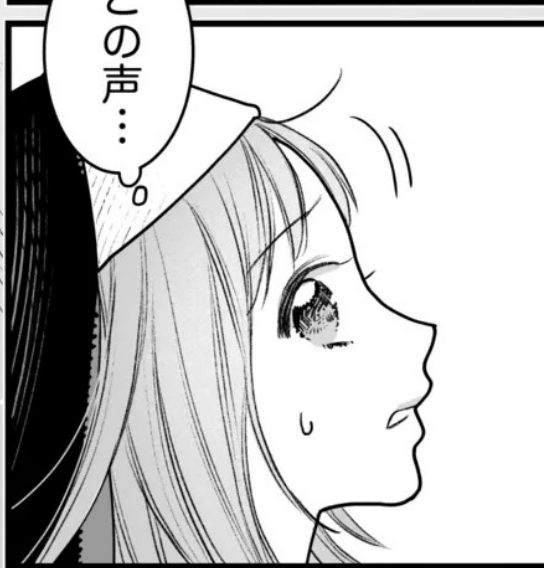
うふふ
いいわよ♡



シルヴィアさん
今夜の予定は?

!

この声…



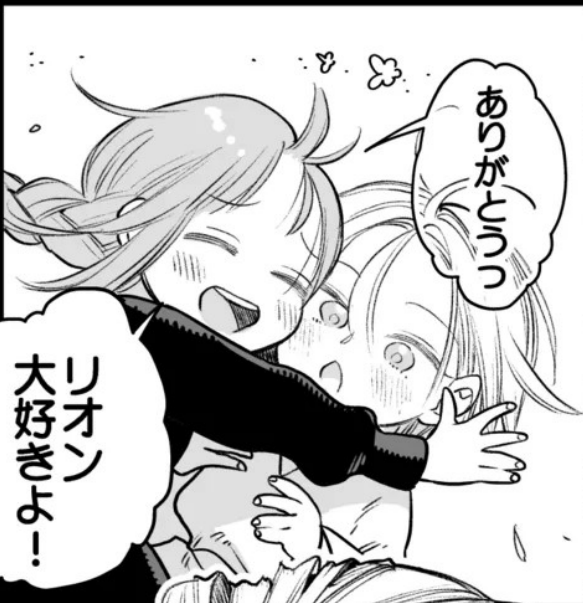
やあ
セラ

キミが
探査員試験に
やっとな合格
したって
聞いてね

どうして
こんな所に
いるの?

今頃
大規模遠征中の
はずじゃあ…







立派な協会騎士…

いまでは
正式な探査チーム
にも配置される



ずっと本部で
研究の仕事を
していた私と違って

リオンは現場に出て
めきめき出世した

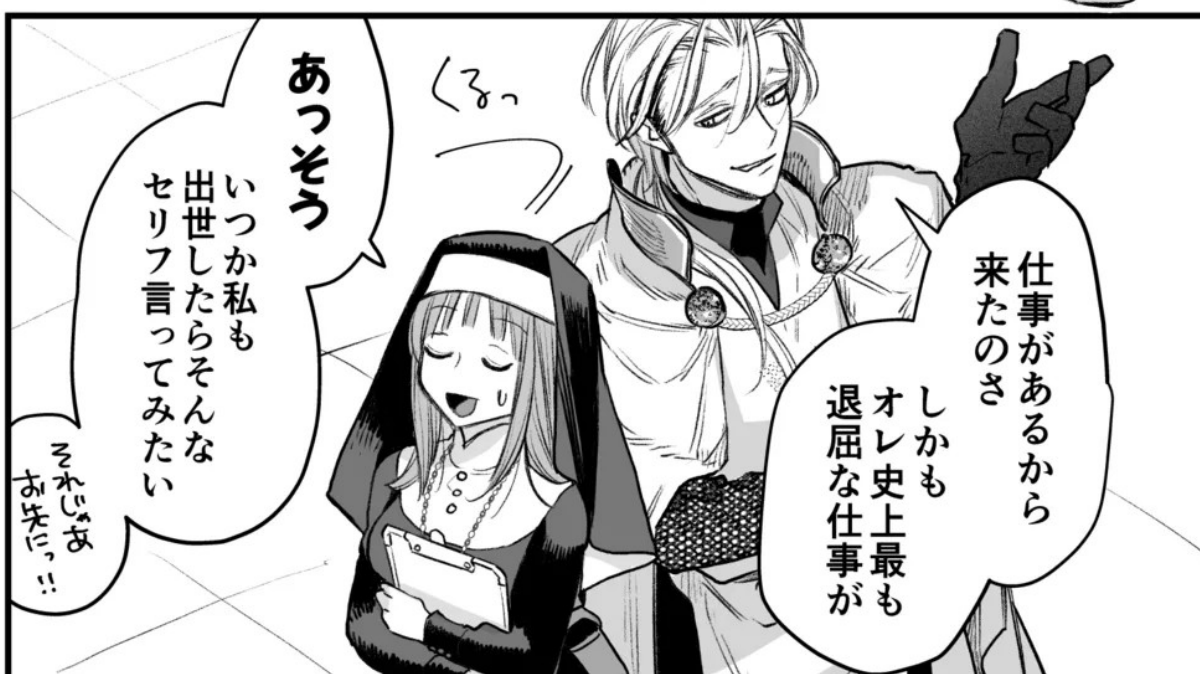
リオンさまー

…それで？
私の初めての
現場仕事でも
からかいに来た？

違うよ
相変わらず
ヒネくれてるな
セラは



待って
セラ！



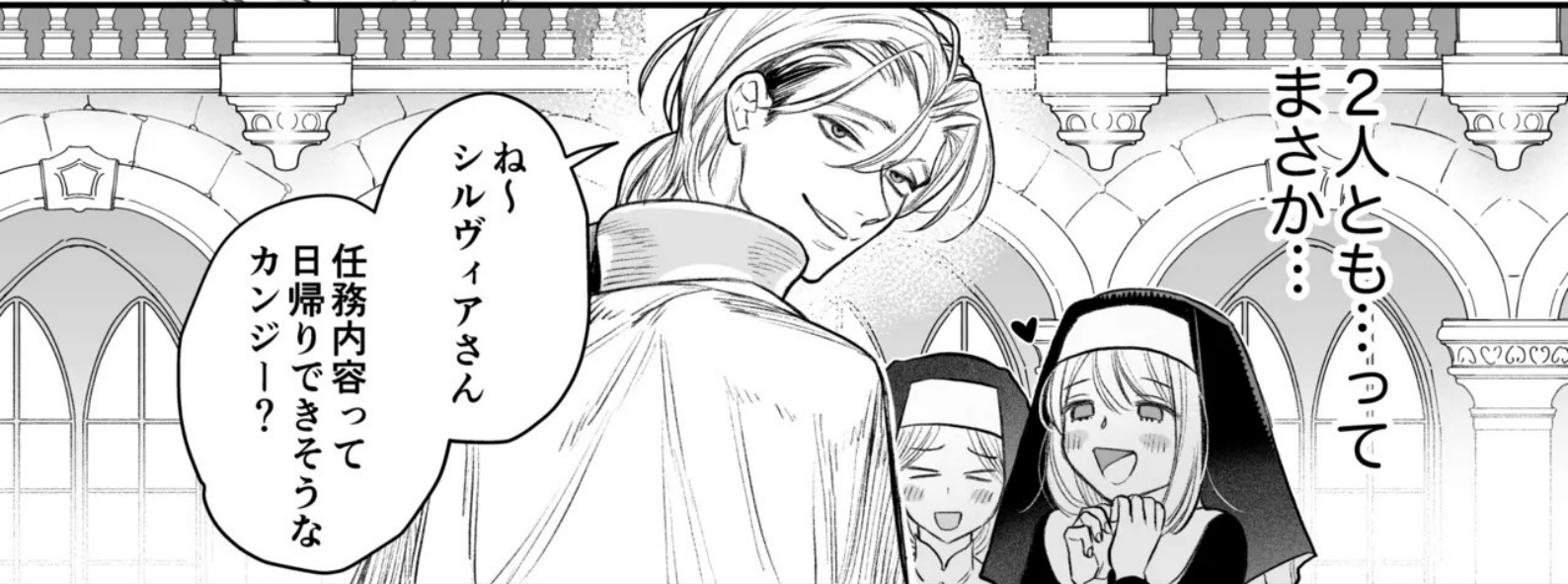
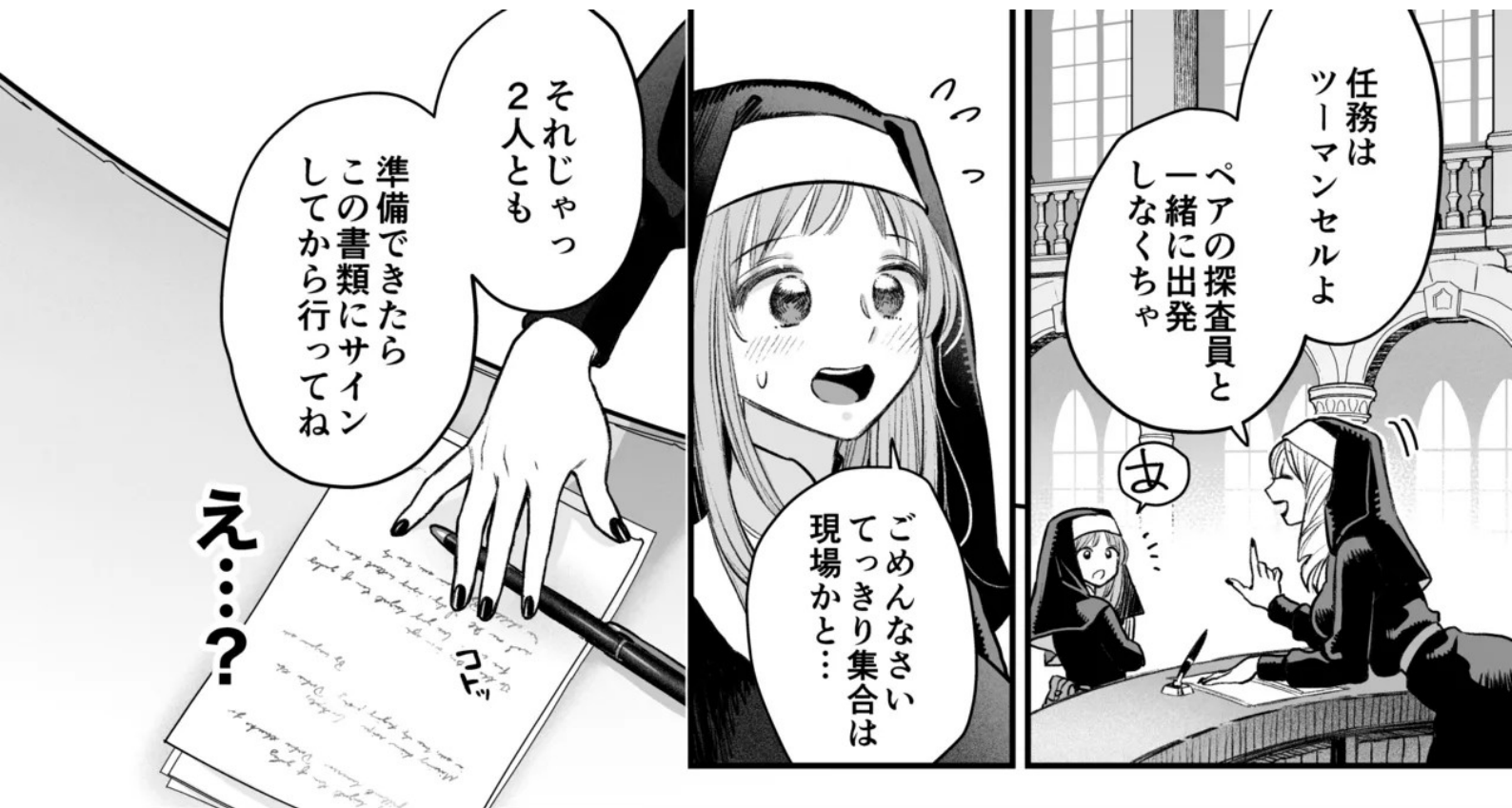
あっそう

いつか私も
出世したらそんな
セリフ言ってみたい

それじゃ
お先に!!

仕事があるから
来たのさ

しかも
オレ史上最も
退屈な仕事だ



こんなはずじゃ
なかったのに…

普通じゃ
ないわよ

探査員と護衛は
等級の近い同士で
組むはずでしょ？

ま
手違いって
ヤツだろ

それか…

…それか？

頼りない新人に
エースを付けて
やらなきゃって
事かもなあ

おほおほ

かま

…!!!

ねえ
リオン

前から
聞きたいと思って
いたんだけど

えっ
なに？



女性とみれば
馬にも紳士的
ってみんな言
ってる

なのに
私と居る時
はいつも…

……それってさ

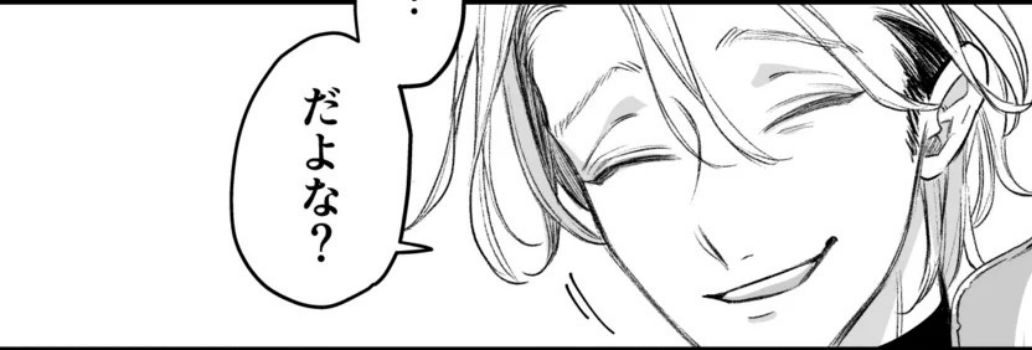
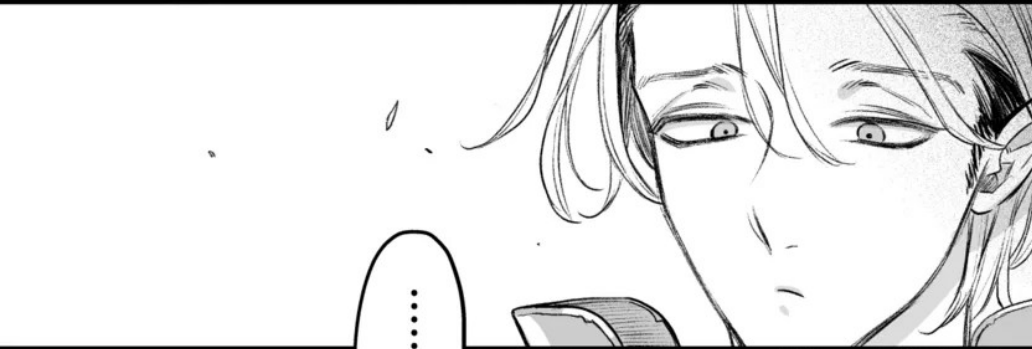


どうして私にだけ
意地悪な態度なの？



オレに優しく
されたいってコト？

え…？





変な病気？
まさかね…

ホントに
平気か？

わからない…
朝食を食べ過ぎ
たのかも…

セラ!?
何やってんだ

ゴホッ

ドド



着いたわ!
この遺跡のどこかに
古代の聖遺物が
眠ってるはずよ

ハッ
ハッ



いまは
事前探査しか
できないけど
正式な探査で
なにが発見
されるか楽しみ

ねっ
リオン?

え?
全然
オレが
楽しみなのは
今夜のデートだけ

…



信仰心を
欠片も持って
ないのに...

どうして
協会騎士に
なったのかしら

キントウキ
オカサカサ...

いつからか...

大事な事をなにも
話してくれなくなつた

昔は姉弟みたいに
仲良しだったし

大人になつても
親友でいられると
想っていたのに...



セラ

ぼんやりしてたら
残業になる

わっ

わかつてる!

それじゃあ
ダンジョン
内部の探査を
開始するわ!



いま書いてるところっ

入り口付近は
広間になって
いるのね…

ちゃんと
メモしながら
歩けよ？



キヤッ

アタ

かあ

畏だから

触るな

見慣れない
機構だけど…

これ
なにかしら



スライムとか…
植物系のモンスターが
出てきそうだ

なんか
はじめじめした
場所だな

了解…
畏…注意



そうだなあ
派遣に必要な
人員は3人って
とこかな

え…
たった3人？
ひういひ…

まあ
立地的にも
補給が容易だし
地形も困難じゃない



あ…
ほかにも
わかりそうな
事って…ある？

えっ…



なるほど…
それじゃあ
炎系のアイテムを
推奨するのが
よさそうねっ

かき
かき



…



Respect....

すごい…
少し歩いただけで
なんでも
わかつちやうのね



…
竜やゴーレムでも
封印されてりゃ
別だけど…
なん…て…



あ…
そんなに
知りたけりや
もっと奥まで
見てみるか？

え？

行きたい
けど…

シルヴィア
主任が深追いは
ダメだって…

そっか
なら仕方ない

詳しい報告が
出せばセラの
探査成績も
良くなるし…

少しくらい
危険があっても
オレと一緒に今なら
対処できるだろ

だから…

やっとセラの
力になれるかもと
思っただけ

やっと？

ちよつとだけ
昔のリオンみたい…

ありがとっ

じゃあ
もう少し先まで
付き合って！

ああ！
行ってみよう

昔とは何もかも
変わってしまった…

そう思って
いたけど

本当は…

ねえ
リオン

私ね…

うわ

え…?

木の根が動いた…!?

セラ!?

何もない所で
コケるなよ…



セラ
初めての現場が
怖いなら
切り上げても
いいんだぞ？

ワスッ

何でもない！

な



えっと...

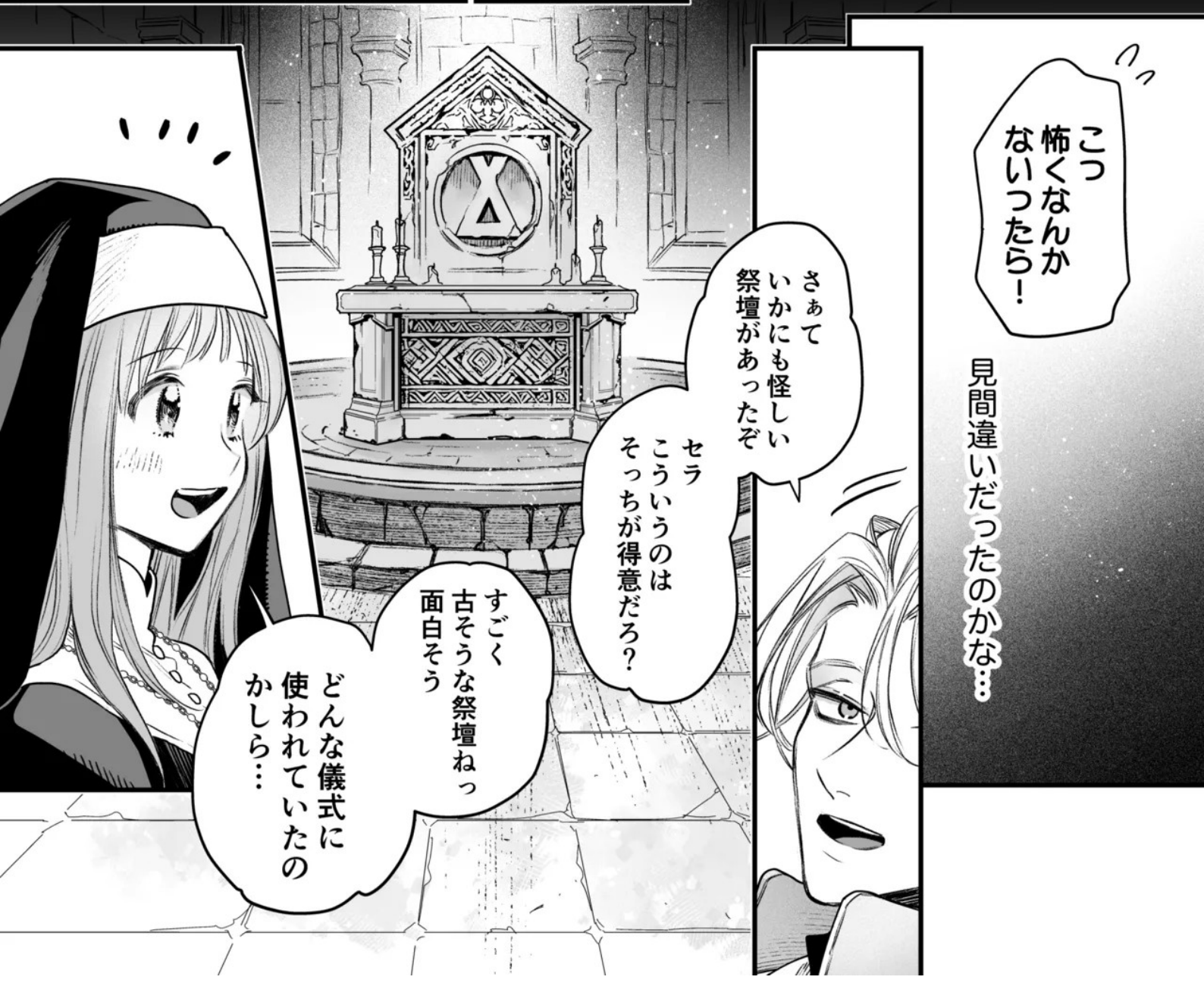


床に這う
木の根が
突然動いて...

ほんとよ！

木の根が
うごいた？

どれ？



こっ
怖くなんか
ないったら！

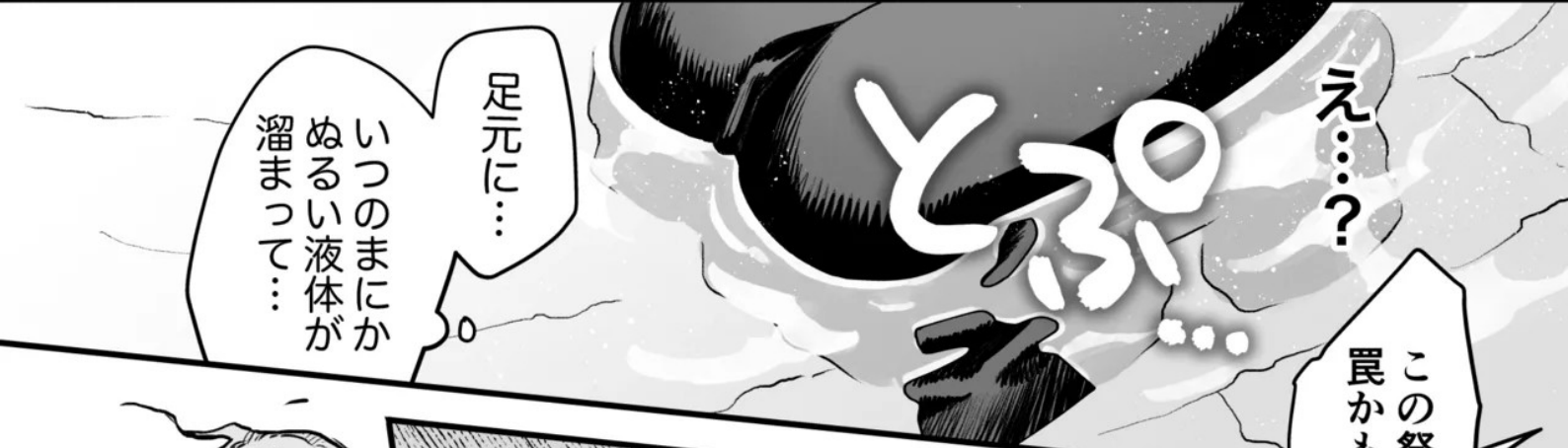
見間違いだったのかな...

さあて
いかにも怪しい
祭壇があったぞ

セラ
こういうのは
そっちが得意だろ？

すごく
古そうな祭壇ねっ
面白そう

どんな儀式に
使われていたの
かしら...





え...っ!?

っわたし

なに...これ...

わたし

服が...
どんどん溶けて
いつちやう...!!

や...

もしかして

この
ドロドロが
原因で...!?

身体には何も
ダメージを
与えない...

なのに服だけを
溶かすなんて

いったい
何のために...

とる...

あのっ

せうっ
大丈夫!?

えと

ケガとか
してない!?

視...

リオンはあっち
向いてて...ツ!!

かま...



背中を
向けてちゃ
助けられないし

自力で
なんとか
するっ！



今のリオンには
絶対見られたくない……っ

たしかにそうだけど……



っすっ
裸くらいで
なんだよ

昔は
風呂まで一緒
だったって
いうのに……

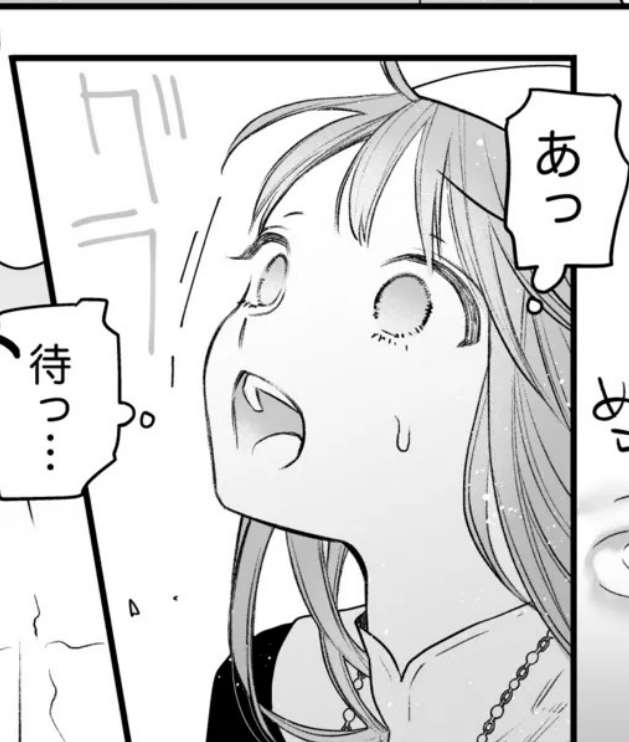


落ち着いて……

と310……

まず
このドロドロを
抜け出して

あとはリオンに
マントでも
借りればい



あっ

待っ……



片方づつ足を抜けば
こんなドロドロ……



セラ?

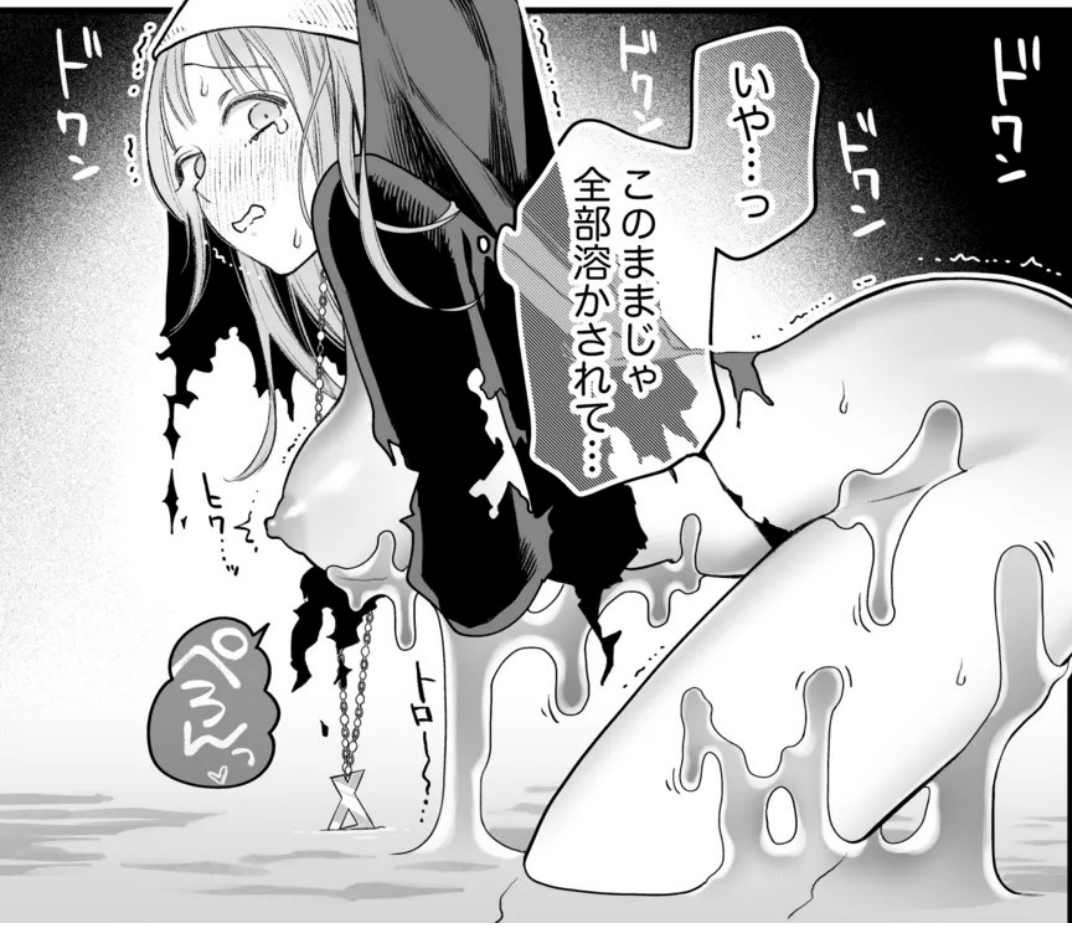
いまなにか
聞こえ...

なんでも
ないッ



スライムが
上半身にまで...!!

ダメ...っ



このままじゃ
全部溶かされて...



ア...

ア...

あ...



リオン1人で
先に本部へ
戻っていいわよ

私もここを出たら
すぐに切り上げる
つもりだから…

でも
マントだけ
置いてって

セラを一人に
するなんて
絶対ダメだ



この根っこ…
よく見たら
腐ってる

かなり昔に
作られた
罫だな

それなら
すぐ壊せるん
じゃない!?



それに
服を溶かして
終わりとは
限らないしな

この後も
なにか
起きるか…

あはは…
なにかって
なにー?

カゲナ
もうっ

床のスライムが
合体して襲い
かかってくる…

うか…うか…

えいっ……

た
3.0

3.0

ア
3.0

!!

ア
3.0

ア
3.0





ま
冗談は
置いといて…

こうしてると
なんだか昔を
思い出すよなあ

「ポポ」

「なっ」

なっ…
何がおきているの…!?

あの頃…

セラの「探検」に
しよっちゅう
付き合わされて
いただろ?

□…
塞がれて…っ

じだばた

声が出せない…っ



まさか
本当にスライムが
襲ってくるなんて…っ

「おと」

「ポポ」

「たふふ」

侵入者を殺すのが
目的!?



それとも…

や…っ!?

「ポポ」

「フー」





セラ
大丈夫かッ

うう...

トッ
クッ



かあ

なあ...
なんにも
見てないっ

なんにも
見てないって
言ってる...!!

クッ
クッ
クッ

クッ



違うのっ
追っできくる...!!!

クソッ

どこかへ
逃げ込む
しかない...

クソッ

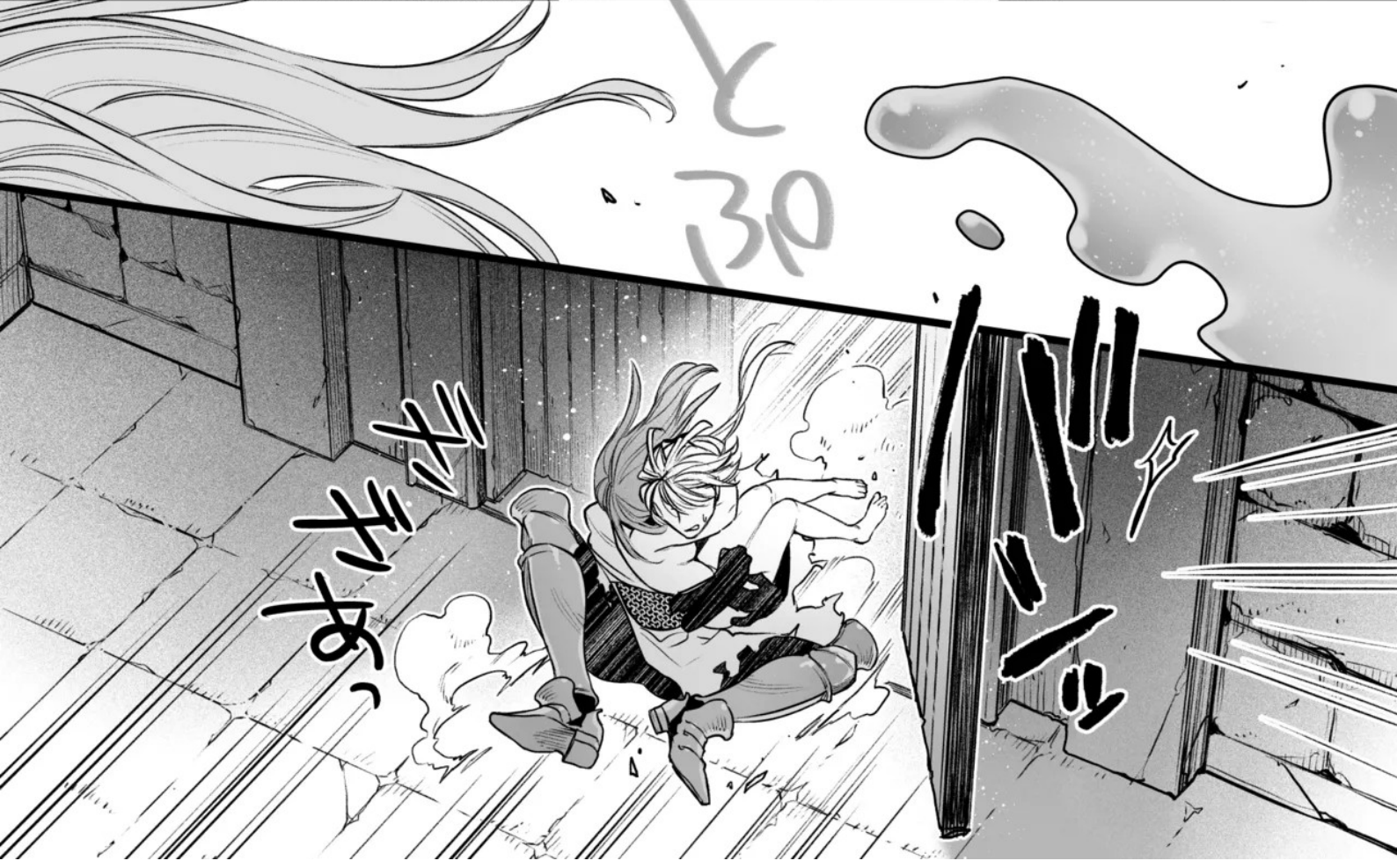
見て!

あそこに
扉があるっ



...リオン
どうしよう

わかってる!
オレのマントを
貸すから...



30

バキッ

カッ





扉のあった
場所が石壁に
変わってる…!?

あれ?
さっき確かに
ここから入って
きたよな…?

あれ?



それを待ってから
ここを出よう
そうすれば…

…って



ま

あの気味悪い
合体スライムも
いつか土管の自宅に
戻るさ

Sweet Home

…自宅…

私達
この部屋から
出られなく
なっちゃった…?
リオン…



帰還や連絡が
遅れた場合…

絶対に誰かが
探しにくる
事になってる

…うん

…うん



いいか?

本部には
探査計画書を
提出済みだ



オレが奢るから!

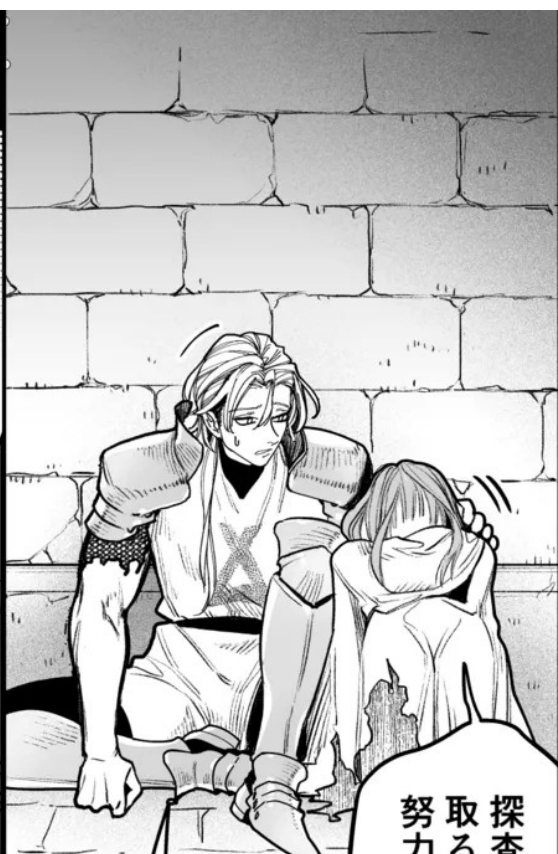
行けるって!

蜂蜜亭のケーキ
食べ放題にも
行って
みたかった



それに
一度くらい...

.....



探査員の資格を
取るために
努力もしてきた

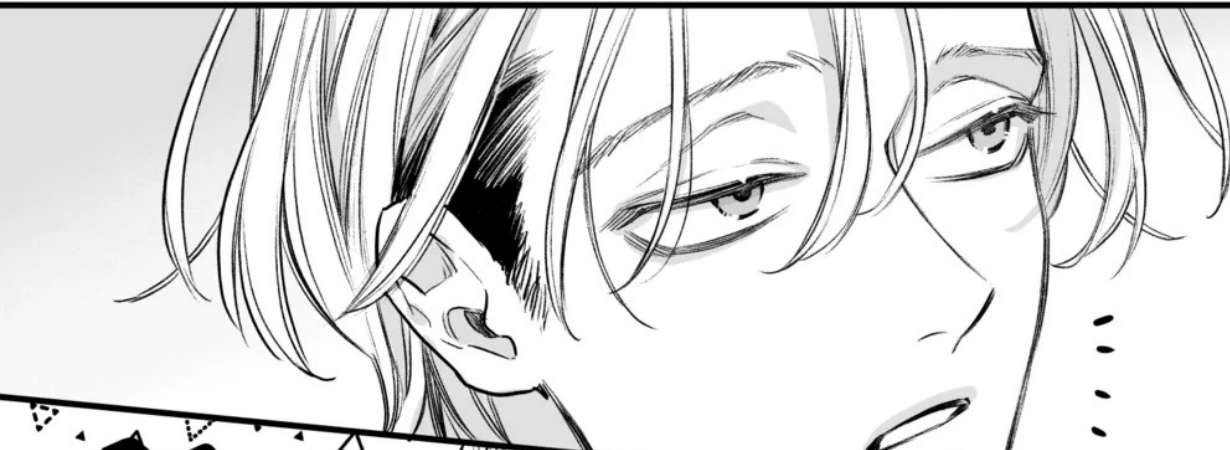
なのに...
こんなところで...

ここで終わり
じゃないさ
絶対に助かるよ

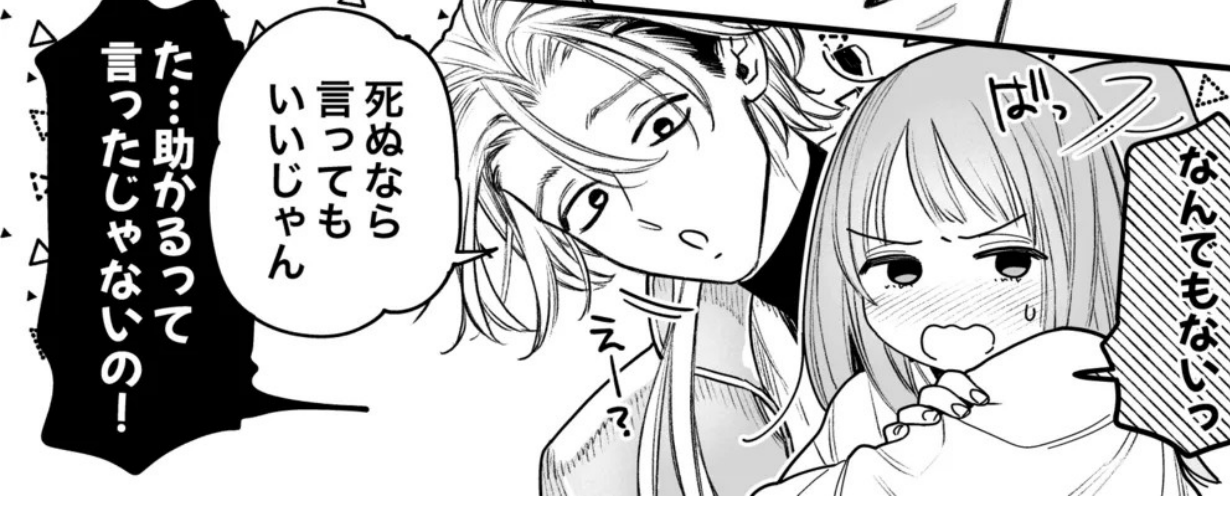


ぐす

...ゆうべ
今日の初仕事が
楽しみて
眠れなかった



...なに?



一度くらい
なにー?

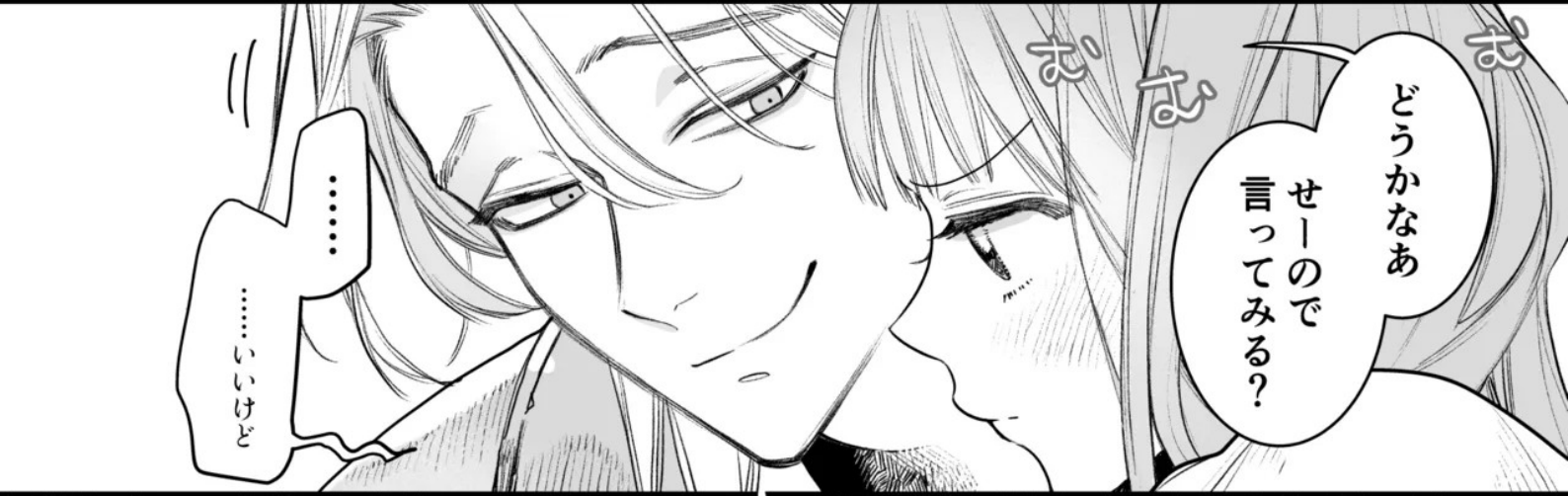
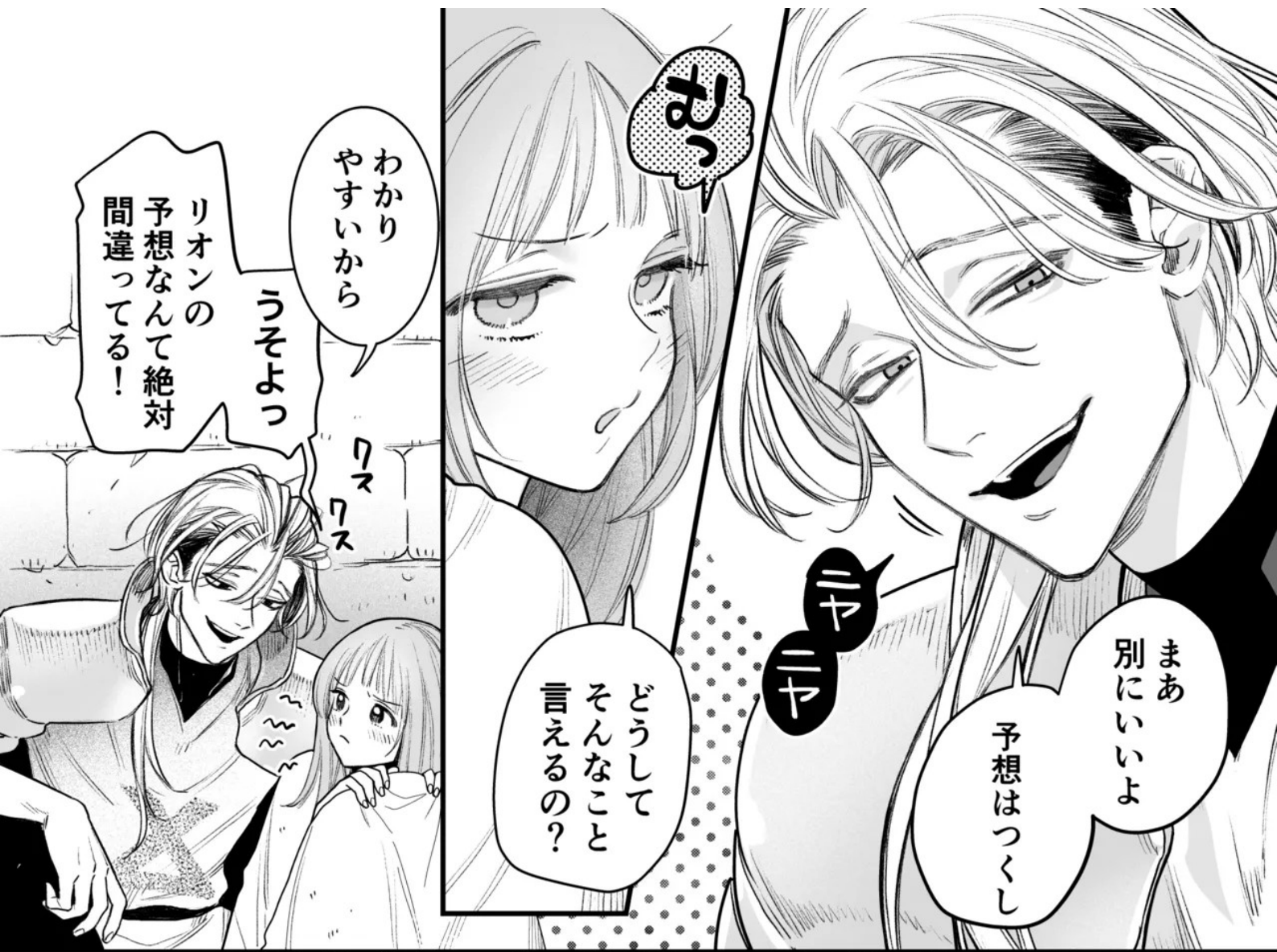
なんでもないっ

はっ

死ぬなら
言っても
いいじゃん

た...助かるって
言ったじゃないの!

えー?





セリス!!

キス...

あ...

な...

な...

あ...あ...あ...



リオンのバカ!!

ゴメン
まさか
そこまでとは
思わなくて

そ...
そこまでって
なによ.....
私は...っ

仕事や勉強の事だけが
頭になかっただけ...

じゃあさ...

セラ

何もかもに蓋をして...



オレとしてみる？

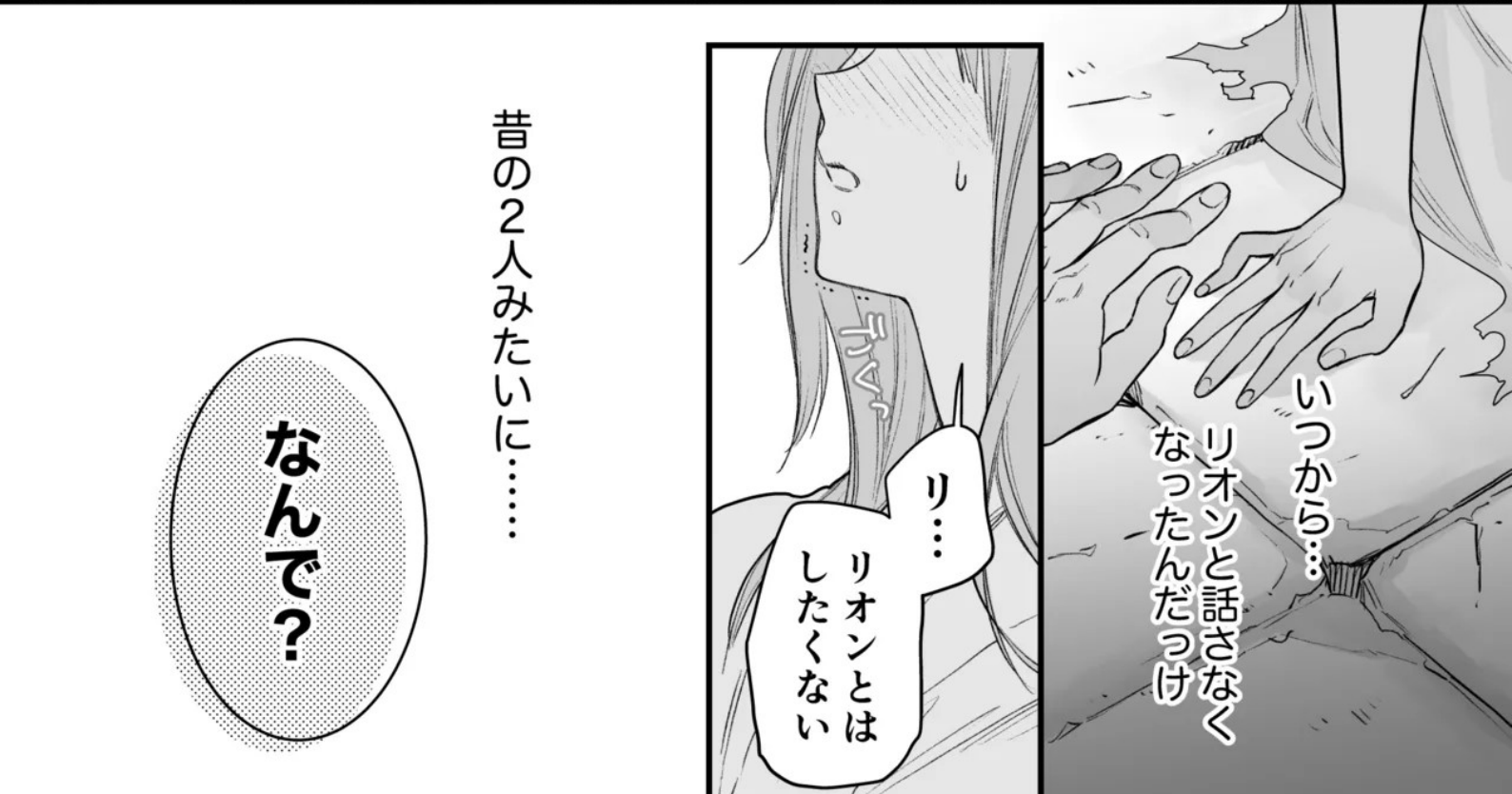


え……

な…何を…

だから、
人生最後の
キス？
セックス？

まあ
どっちでも
いーけど



いつから…

リオンと話さなく
なったんだっけ

リ…

リオンとは
したくない

昔の2人みたいに……

なんで？



……あれ？

リオン 笑ってない

やっぱり
オレが「弟」だから？

……

ちが……

あなたは私の
大事な友達で……



おれ
弟じゃないよ

あれ……？
私たち……

セリのことか……



前にもこんな
会話をして……
それで……

……

そっだ
あのとき……

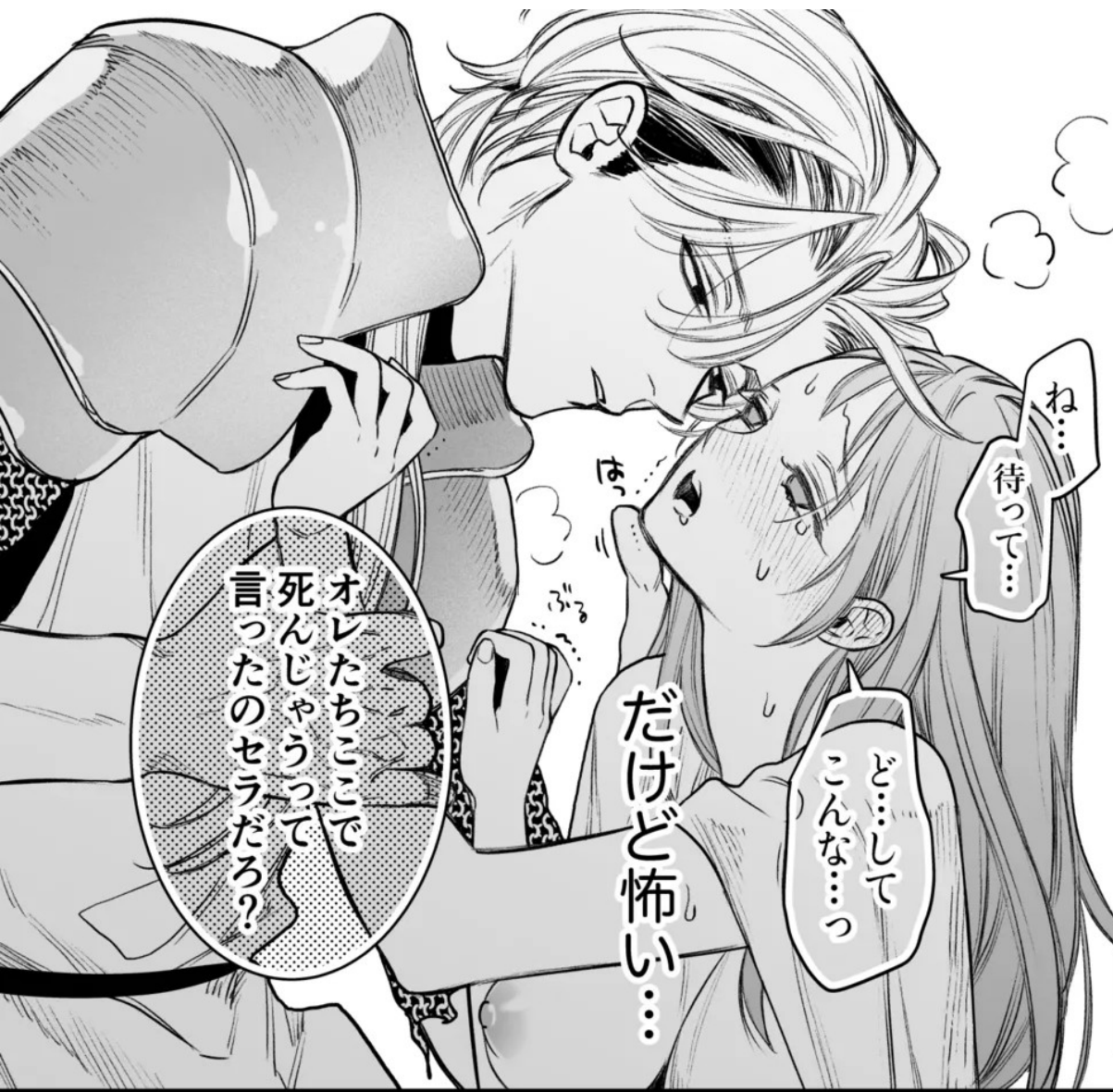
リオンの
真面目な顔を見てると

私達の何もかもが
変わってしまう気がして

怖くなって
はぐらかした

その時から
リオンと私は……





オレたちここで
死んじゃうって
言ったのセラだろ？

ね...
待って...

ど...して
こんな...っ

だけど怖い...

それならもう
我慢なんてする
意味がないよな？

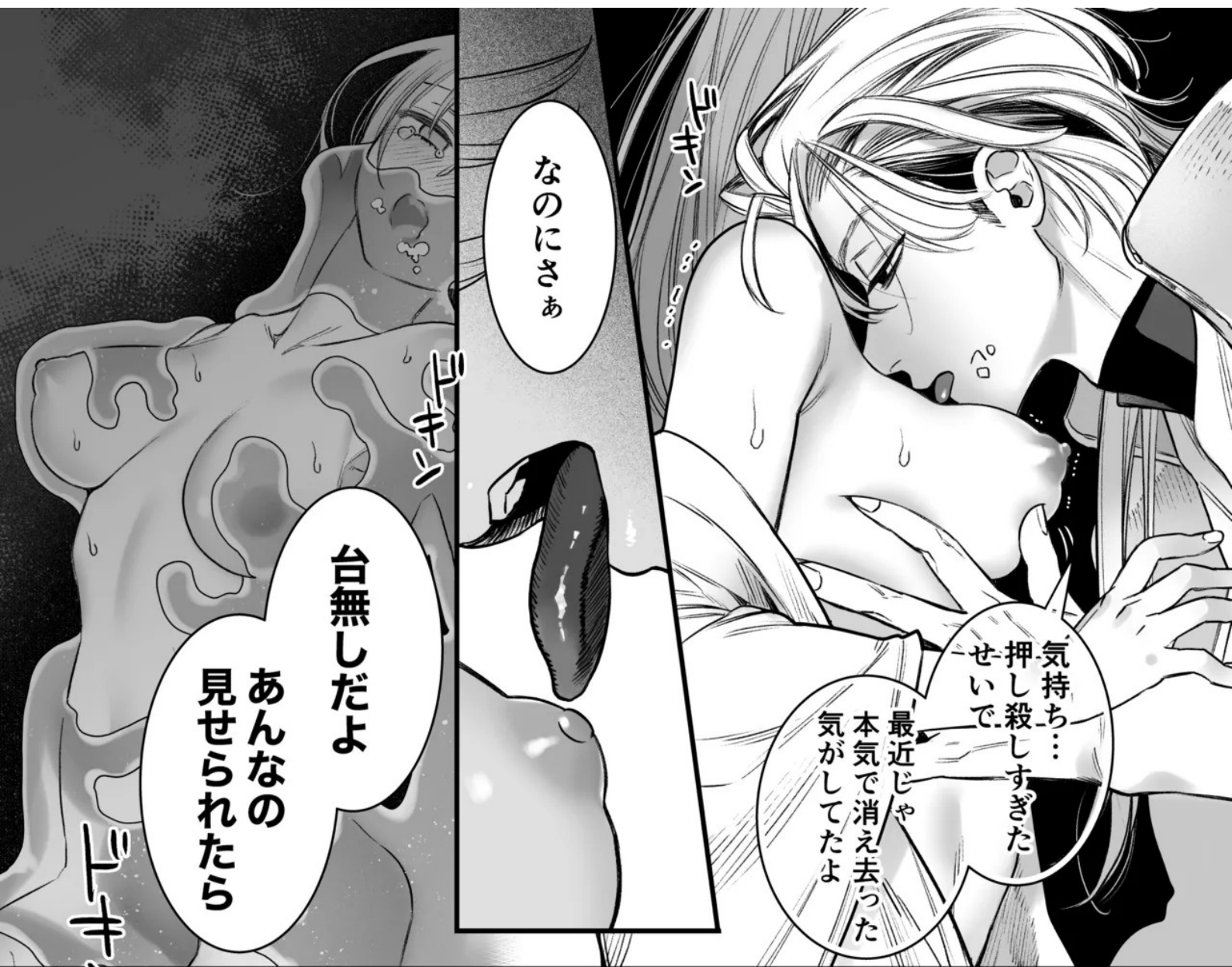
我慢...

なに...っ

リオンの声...

諦めたフリを
してたんだ
ずっとね

聞いたことないほど
真剣で.....



なのにああ

気持ち...
押し殺しすぎた
せいで

最近じゃ
本気で消え去った
気がしてたよ

台無しだよ
あんなの
見せられたら



なに...これ...

ゴッ
ゴッ

ジュッ
ジュッ

ジュッ
ジュッ
ジュッ
ジュッ



乾いて…あつたかい手が…

肌をくまなくすべって……

どんな顔
見せてくれるん
だろう…って

撫でたり
味わったり
したら…

セラの…
柔らかくて
敏感な場所を
こうして…



毎夜
想像してたんだ

もっと
知りたいよ



やっ…

だめ…

あま

指…やだ…

そっは…



嫌…？

でもすぐ…
濡れてるよ
セラ…

あ…あ…

やめてっ
おねがい
もう…っ

ぬちぬち
声が…っ

ほら…
まだまだ
溢れてくる…

抑えられない…
きもちよくて…っ



もっとよく
見せて…

セラのここ
真っ赤になって
すぐくキレイだ…

リオンに…見られてる…

誰にも見せたことない場所…

やめて…
みないで
おねが…

味も…
知りたいな

え…？



ぬるぬる...
すごく熱くて.....



全身ゾクゾクして...
何か来る.....

なに...これ...

吸...っ!



だ
ぢゅは♡

きちかじゅ………

ぢゅは♡

ぢゅは♡

ぢゅは♡

舌………
きちかじゅ………

ぢゅは♡

リオン………

ぢゅは♡

ぢゅは♡

ぢゅは♡

セラ……

オレのこと
考えながら
イッて……

リオン……

わたしのほうが
半年おねえさんだし
背だつてたかいもん

じゃあ
おれがセラよの
おおきくて
カッコよくなつたら？

そしたらセラは
オレのこと……



セラ……

ふ……

ふ……

ふ……

オレのものになって……

大人になってから
初めて見る

リオツの身体……

あ……
あなたに似合う
女性なら……
ほかに大勢……



リオ...

ずちん

リオンと...ひとつになってる.....っ

セラ...

あゝ

あゝ

だけど...

もっと欲し...

キツくて...苦しい...

キ...

リオンも...震えてる...



セラ...

バキ

ヒン

あゝ



セラ...っ

たったっ

セラ...

たったっ



いっ...
敏感なのに...

また...っ

きもちよくなっちゃ...

ムク...

だっ...の...
それ...っ

ムク...

たっ...っ



すこし...

慣れた？

はあ

はあ...
ふん...
ふん...

ぶるん

奥...

っ

くわわわわわ
くわわわわわ
くわわわわわ

め
ぢゅ
ぢゅ

ならもつと...

千
ユ

気持ちよく
してあげる

ひま

あ
あ
あ



あ
あ
あ

待って...

急に...

激し...

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

は
あ
あ
あ

は
あ
あ
あ

は
あ
あ
あ

は
あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ



おっぱい

おっぱい

あ……ん……っ

気持ちいい……っ

何度も当たって……っ

余裕なくて
ごめん
セラ……

こんなに
我慢出来ないの
初めてだ……

また……っ

おっぱい

おっぱい



加減できなら……っ

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい



リオンのが...

うねりながら...
突いてくる...

ばしゃばしゃ

ばしゃ

バキッ

セラ...

セラ...

あーっ

あーっ

何回も...

何回も...

ずっと...

ずっと...
したかった...

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

アッ



セラ…

はじめて会った
あの時から



毎日ずっと

想像してたんだよ





リオーン.....

この瞬間のとき

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...

アッ...



バキョ バキョ バキョ

あッ あッ あッ

……どうしよ……私また……

きもち……

リオンの……

嬉し……

あッ あッ

まっしろになっちゃ……

オレのこと
受け止めて……

セラ……

セラ……

バキョ バキョ

バキョ

ハッ ハッ

ハッ



コソコソ
おは
おは
おは
おは

コソコソ
コソコソ

コソコソ
コソコソ

セラ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……

ハ……
ハ……



もういつかい…
する……?

ぽろぽろ…♡



加減ができなくて…
痛かった…よな?

セラ…!
ごめん
俺…夢中で…



ぐわんぐわん♡

ぐわんぐわん



あら…
これは例の…



ならば二人が
閉じ込められて
いるのはここだな

強制開錠を
開始しますか？

局長

この部屋以外は
すべて搜索を
終えました

待て

壁の刻印を
よく見てみる



セラとリオン
ですよ？

犬猿の仲だし…
我々の到着まで
開錠されていない
わけですから…



ふむ…

なあ
シルヴィア主任

彼らは…その…
「自力で」
脱出できると
思うかね？

…お前はまた
知らなくていい

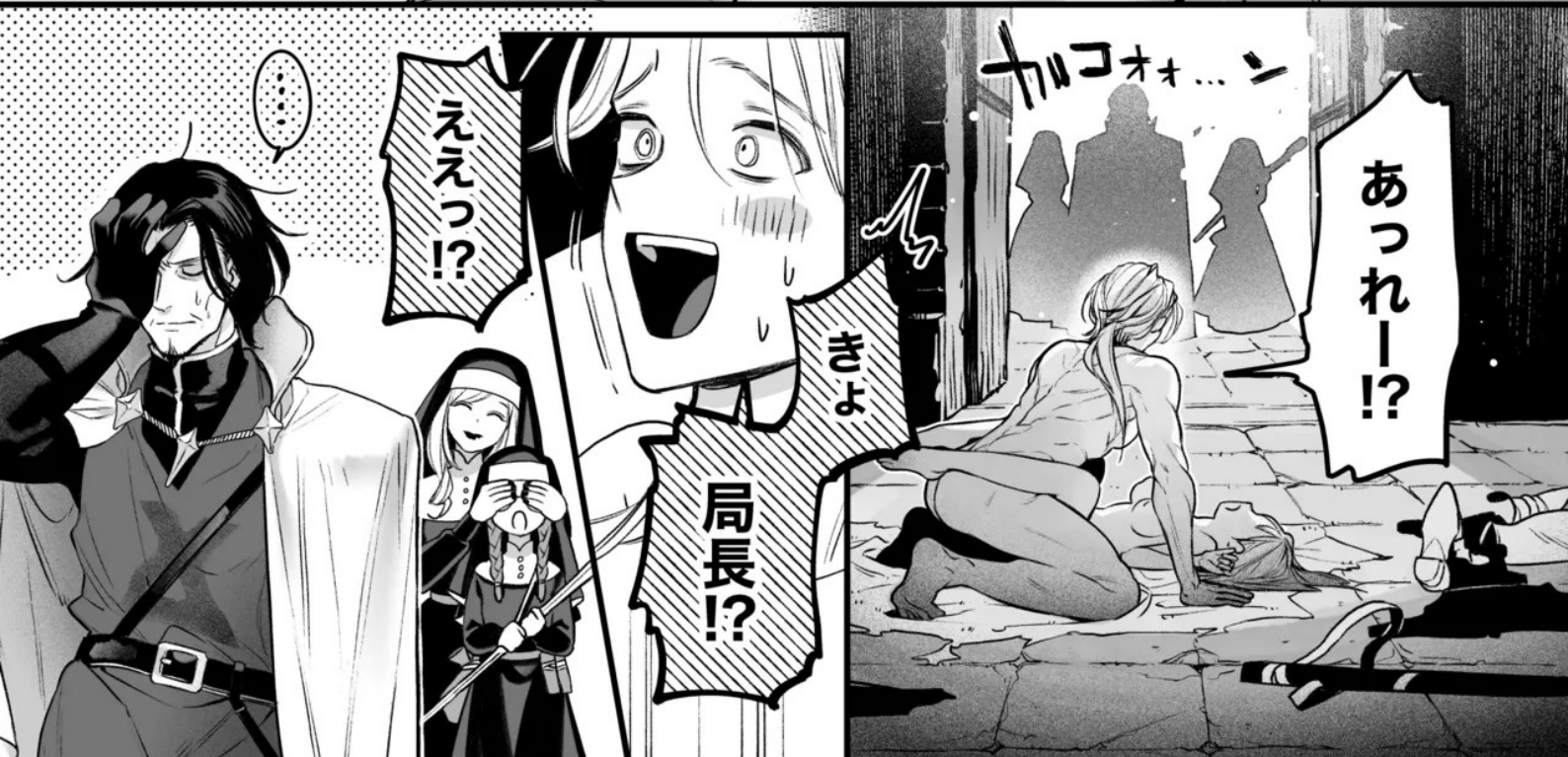
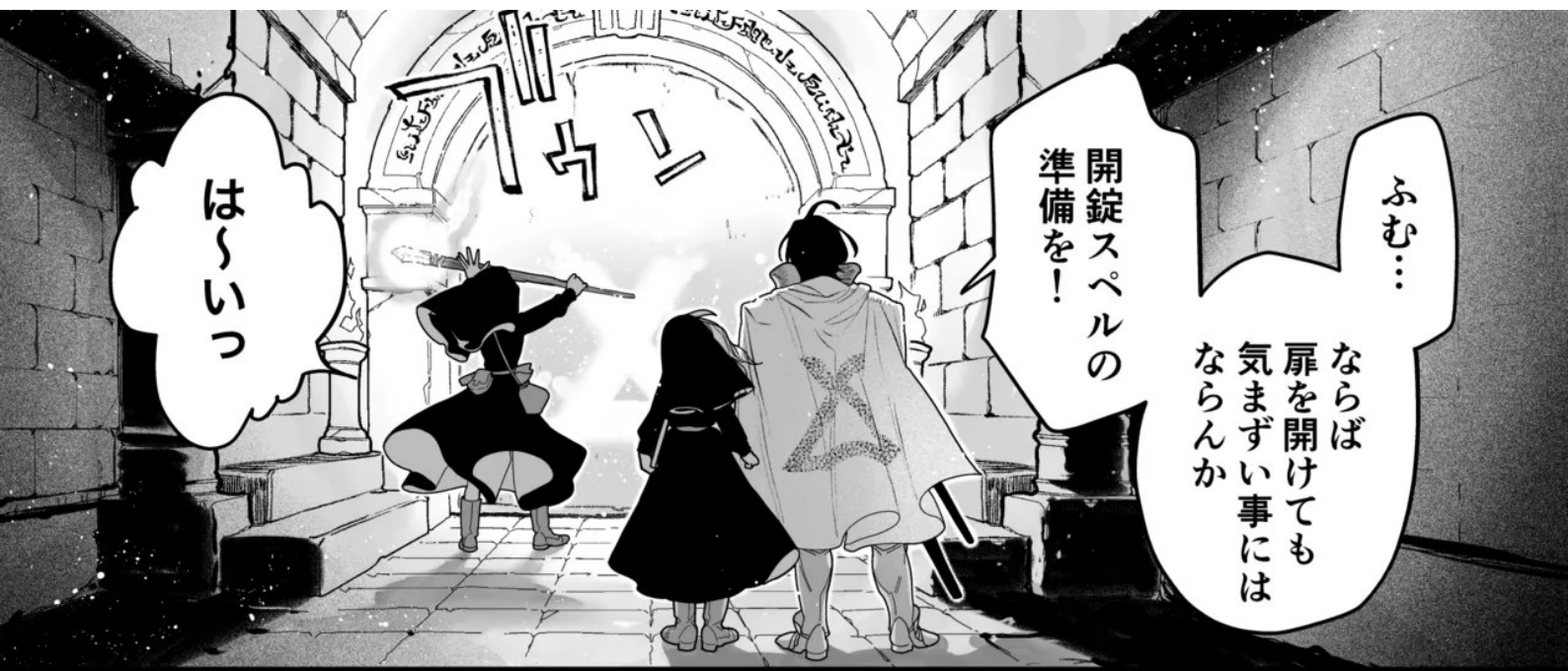


異端の儀式の
ための部屋
…ですかね

異端の
儀式って!?

えっ!?

わん



こうして
記念すべき私の
初任務は終わった

そして
リオンは……

「ギミック解除実績」という評価との引き換えに

セラ？

こんな所にいたのか

漏れ出た噂話で数ヶ月は同僚に避けられるだろう

ほら
蜂蜜亭の
カップケーキ

……

いやいや

ケーキ食べ放題の約束も忘れてないって！

そっちは改めてアポ取るってことで……

リオン



セラ…？

局長が
知ってたなら
あなただって…



私を好きだったなんて
本当は嘘なんでしょ？



あの部屋の
脱出方法を知って
いたはずよね



嘘だったことに
したいと
セラが思うなら
それで

リオン…



でも私を
傷つけたく
なかった
だから
あんな嘘を…

いいよ

じゃあオレ…
もう行くよ

怒ってる…？

あんなことして
ホントにごめん

ちがう
傷つけたんだ

ま
待って

リオンが…
謝らないで…

これじゃ
あの時と同じ…

本当は私が悪いのに

臆病で素直になれない私が…

嘘だったことに
してほしくない

だけど
信じられなくて

だって
リオン一人で
どんどん
かっこよくなつて
いっちゃうし…

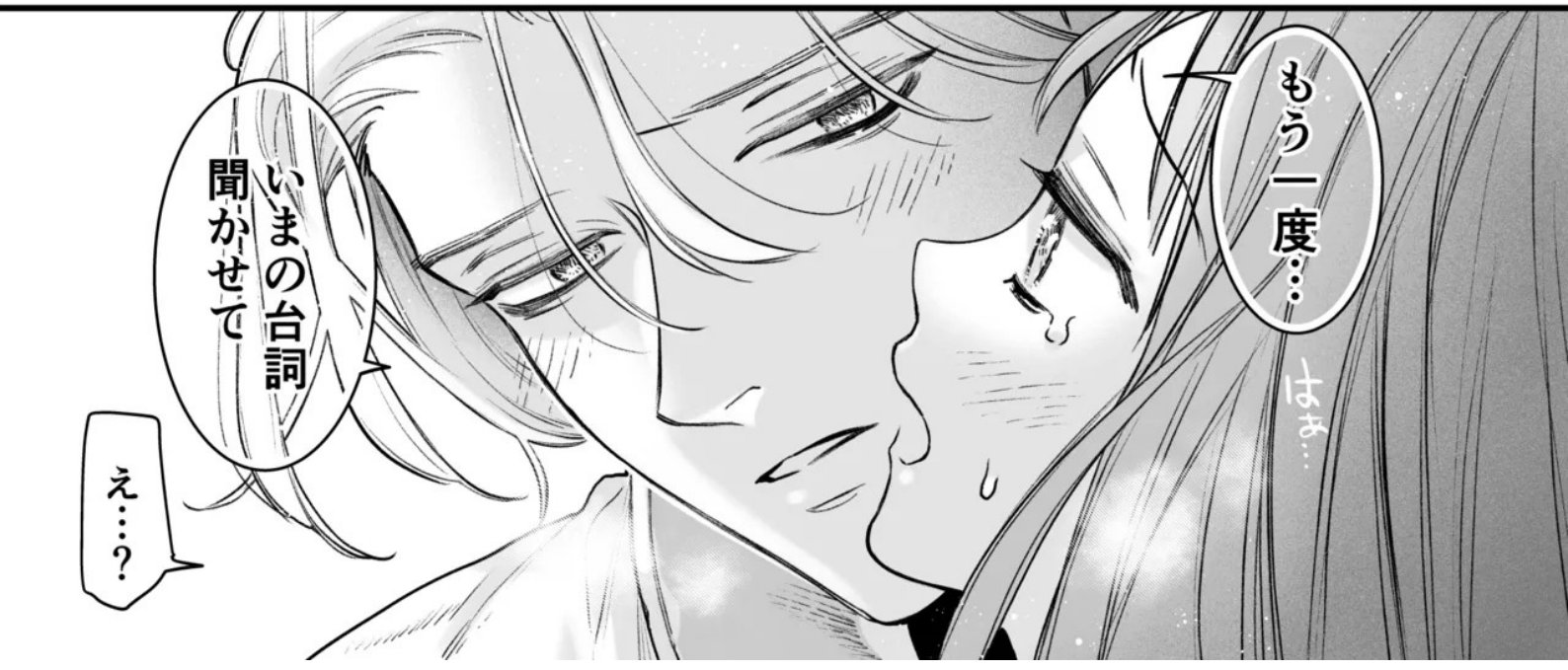
ぐすっ



あなたの隣に居るのが
私なんかじゃあ

全然釣り合って…

すし



もう一度…

はみ…

いまの台詞
聞かせて

え…?

「だって
リオン一人で
どんどん」…？

かつこよく
なつて…

もう絶対
言わないっ

「スー
おまがら」

私たち…
昔みたいに戻れたかな

もう一回
聞きたい

ううん…
戻ったわけ
じゃない

あの頃の2人より
もっと特別な関係に…

END

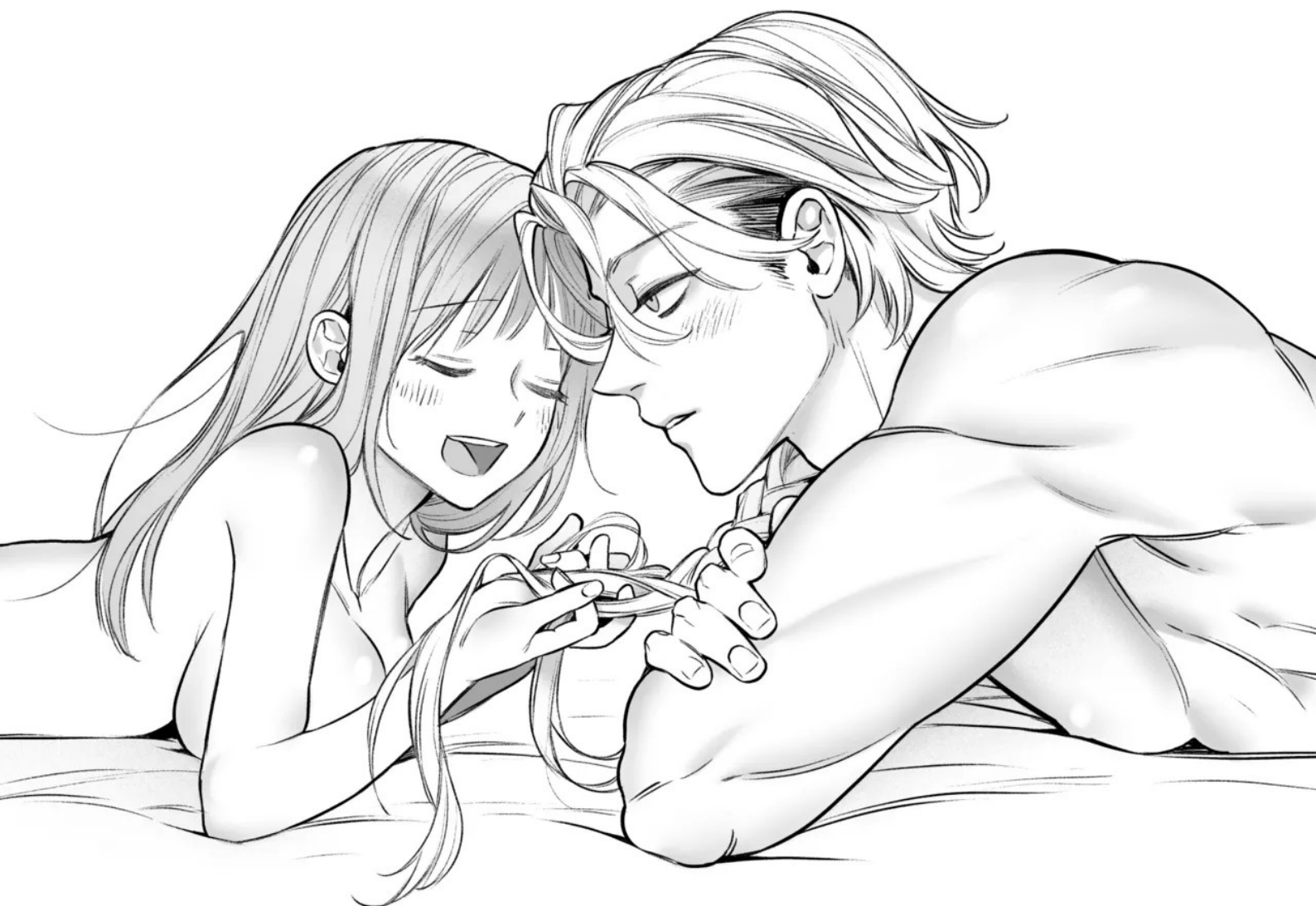
お読み頂き、ありがとうございました！

ただの幼馴染のはずだった聖騎士が
ダンジョンの密室で
積年の執着を告白してきた!?

© Visualize/ENVY

All texts and illustrations in this publication are the intellectual property of the author ENVY.
Reproduction, distribution, modification, or publication (including online uploads) without permission is strictly prohibited.

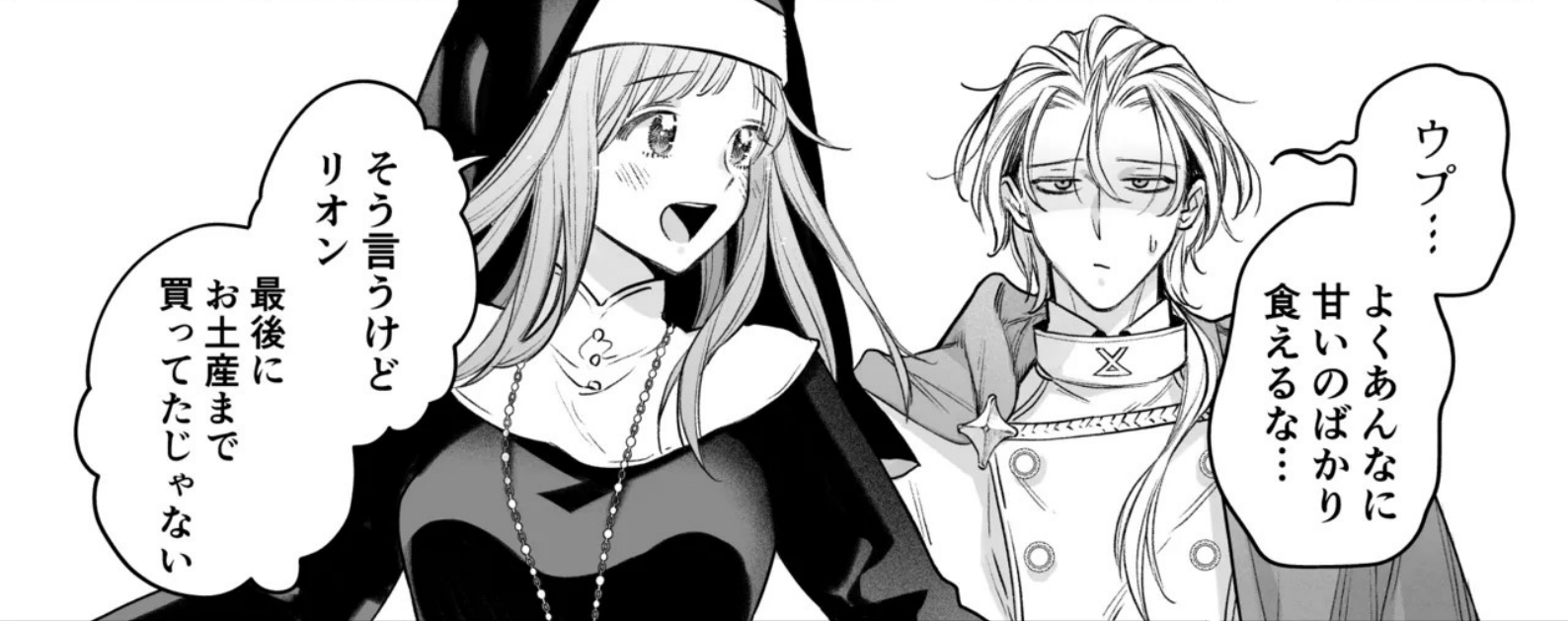
本書の内容の無断転載・複製・配布を禁止します。





リオンが約束の
ケーキバイキングを
ご馳走してくれた

ん♡♡
とっても
美味しかった
わね!



ウプ…
よくあんなに
甘いのばかり
食えるな…

そう言うけど
リオン
最後に
お土産まで
買ってたじゃない



ああ
これ?

ちよっと…
庶務の窓口
に
土産が必要でさ

ふん?
庶務の窓口って
クレアさんのこと
でしょ…?

美せで
有名よお、
いゃっ
違っ
んだ

焼き菓マゼト



少し前に
頼み事をしたから

どうしても
お返しが必要で…

セラの配属直前…

え？

セラの
バディ探査員を
自分に変更して
欲しい？



急すぎるし…
階級も全然
違うし…

はん、ん

クレアさん…
そこをなんとか

おねがい
おねがい
おねがい！



ホワワ…

ムリに
決まってるでしょ
そんなの



んぎぎぎぎぎ…

わ…かつ…
たわよ！
まったくつ

アンタの一生は
何回もあって
いいわね！



いつ

…しょーの
おねがいっ！

…リオン？



セ：セラ
そんな事よりも

これ見てっ

えっ
私に...?

そうっ!
セラにも
買ったんだ
お土産

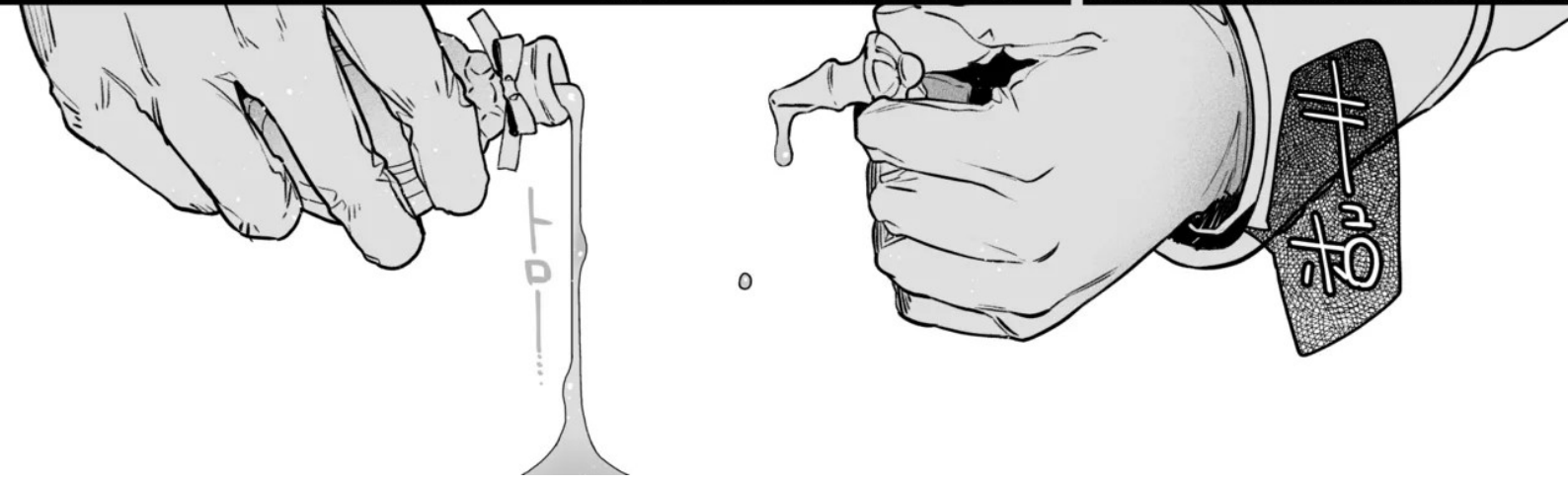


続きは
セラの部屋で...

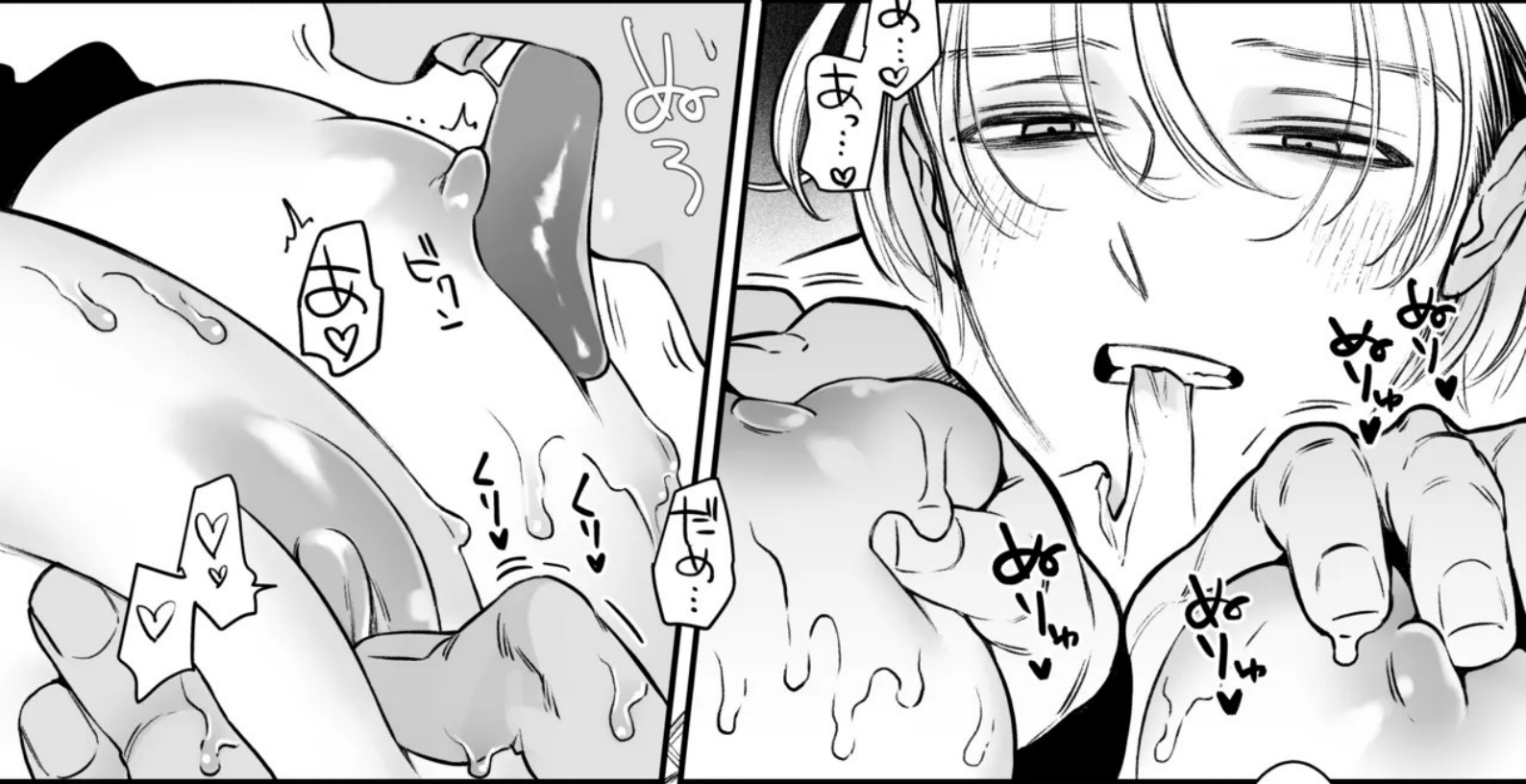


ありがとう
何が入って...

待って



キヨホ





んんん...
女子寮...
なんだか...ら...

アッ...
かっ...
かっ...

そう...だよな...

女子寮で
こんなことしちゃ
いけない...よな.....

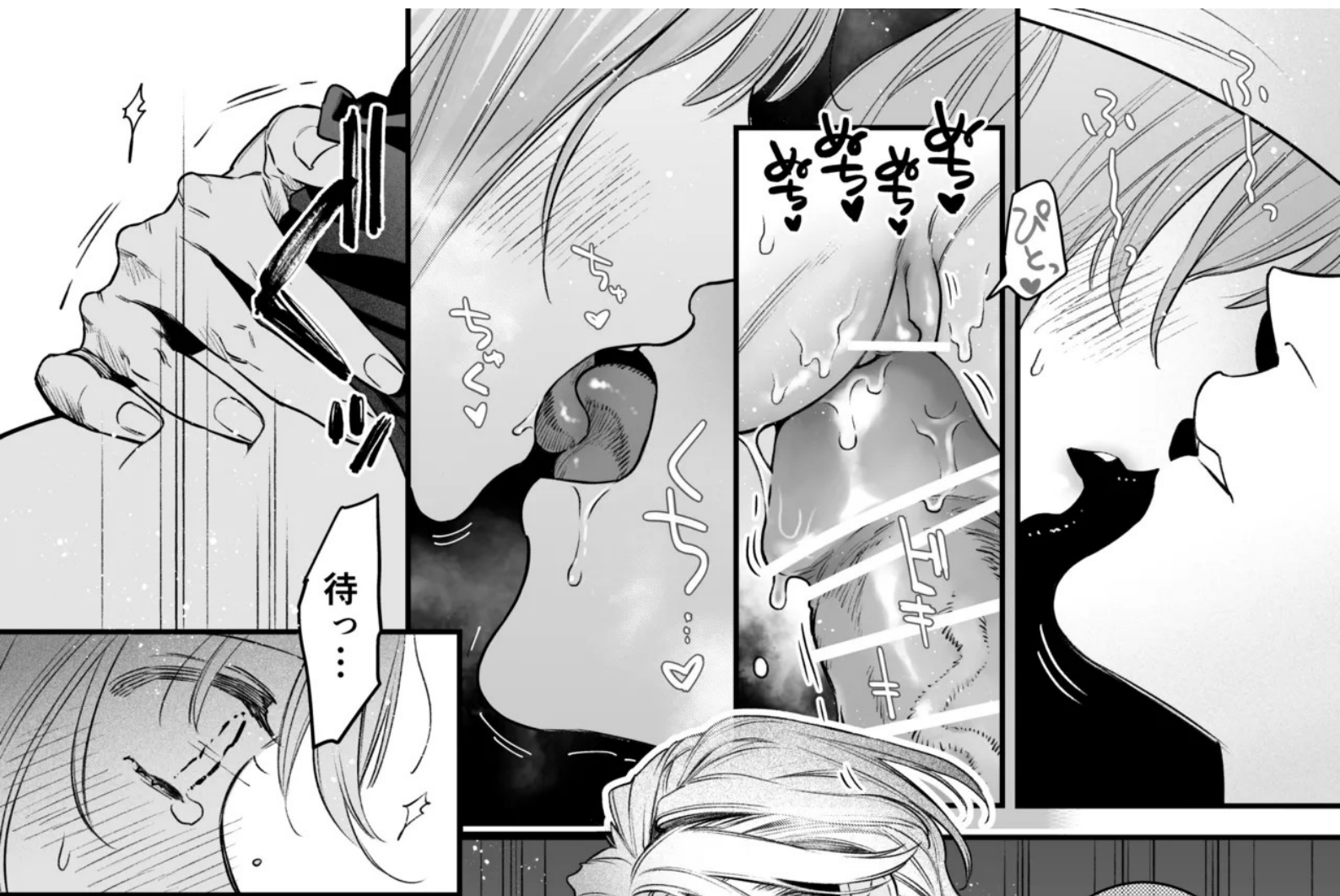
おん...
おん...

おん...
おん...

リオ...

待っ.....





待っ…



あーっ

だから
毎日でも足りない

あーっ
あーっ
あーっ



あーっ
あーっ
あーっ

あーっ
あーっ
あーっ



フキ返
フキ返
フキ返

フキ返
フキ返
フキ返

フキ返
フキ返
フキ返



フキ返
フキ返
フキ返

フキ返
フキ返
フキ返

フキ返
フキ返
フキ返

気持ちいい
リオン……ッ

フキ返
フキ返
フキ返

フキ返
フキ返
フキ返



声……
抑えないと

いけない……の……

抑えられな……

フキ返
フキ返
フキ返

フキ返
フキ返
フキ返



ゴメン…
あのさあ…

あっ…
セラ…

…
ふっ
ふっ



あー
そうだ
どこか出かけよう
湖の方とか…

だから
許して…

次会う時は…
もっとフツーにする
セラの部屋に來たり…
ベッドを滅茶苦茶に
したりしないよ

まあオレは
外でするのも
嫌いじゃないし…

…って
ウソウソ
ほんとに冗談!
セラ…??

And they lived happily ever after.